

# 1 地方創生の推進について

【内閣府、総務省】

## 《提案・要望事項》

- 1 新型交付金については、地方が総合戦略を着実に推進できるよう、補正予算も含めて十分な規模を確保するとともに、地方創生先行型交付金と同様に基礎交付分を確保しつつ、先駆的な取組等に限定することなく、対象分野や対象経費の制約を大胆に排除して自由度の高いものとする。また、内容や規模の検討に当たっては、地方の意見を十分に踏まえること。
- 2 平成27年度地方財政計画に計上された「まち・ひと・しごと創生事業費」（1兆円）を拡充するとともに、地方創生関連補助金等について、要件緩和など弾力的な取扱いと安定的な確保を図ること。
- 3 総合戦略の中核をなす地方単独事業を実施するための地方債について、元利償還金に対する地方交付税措置を創設すること。
- 4 地方大学の定員増加と東京圏の大学の定員抑制を図るため、東京圏の大規模大学の収容定員増加申請に対する認可基準を厳格化し、大学の定員が大幅に超過した場合に国立大学法人運営費交付金や私立大学等経常費補助金を削減する施策を実効性あるものにする。
- 5 企業本社機能等の地方移転の大きな流れを生み出すためにも、国は自ら率先して政府関係機関の地方移転に取り組むこと。
- 6 総合戦略の推進に当たって支障となる法令・制度等については、特区、分権等による規制改革を推進し、地方が主体的・自主的な取組を展開できる環境を整備すること。

## 【現況、課題等】

- 地方創生先行型交付金（平成26年度補正予算）  
全国 1,700億円（基礎交付分1,400億円、上乗せ交付分300億円）
- 私立大学の定員充足率



(県所管部局) 企画振興部

## 【長野県の取組】

- 国家戦略特区（地方創生特区）として以下の7件を提案（平成27年6月5日）
  - ・農事組合法人が行うことができる事業種類への「生活サービス事業」の追加
  - ・介護福祉士国家試験受験資格に必要な科目に関する高等学校と養成施設の単位通算
  - ・地方空港における運用時間の延長に関する手続の簡素化
  - ・検疫所が任命した空港近隣の医師による非検疫空港での検疫業務の実施
  - ・外国人スキーインストラクターに係る在留資格要件の緩和
  - ・道の駅内の道路区域における道路占用許可の緩和
  - ・し尿等を終末処理場に投入する施設を下水道法上に位置付け、既存施設の活用を促進

## 【参考】

### 長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略(平成27年10月22日策定)のポイント

#### 信州創生の基本方針

信州創生に向けた中長期にわたる施策構築の考え方や未来の姿

#### 1 人生を楽しむことができる多様な働き方・暮らし方の創造

女性や高齢者の就業率が高く、農ある暮らしが根付いている長野県が先頭に立って、新しく多様な働き方・暮らし方を定着させ、創造する。

#### 2 若者のライフデザインの希望実現

若い世代が多様な夢と希望を持ち、結婚や子育ての希望実現に向けて進み、子どもを育てることを社会全体で応援する。

#### 3 活力と循環の信州経済の創出

海外・県外からの利益獲得や労働生産性の向上、地域で消費するものを地域で生産する「地消地産」の推進により、経済活力の維持・向上を図る。

#### 4 信州創生を担う人材の確保・育成

地域を大切にすることを育み、能力を発揮するための教育機会の充実、必要な人材の誘致、雇用のミスマッチ解消などにより、人を活かした県づくりを進める。

#### 5 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり

快適なまち・むらづくりを住民主体で推進できるようにする。生活・交流機能を確保し、公共交通などのネットワークで結び、健康で安心して生活できる地域をつくる。

#### 6 大都市・海外との未来志向の連携

大都市と長野県の課題をともに解決し相乗効果を発揮する地域関係をつくるとともに、海外との友好交流関係を互惠関係に再構築する。

#### 基本目標

今後5年間で達成を目指す基本目標

#### ① 自然減への歯止め

■ 合計特殊出生率：H26年 1.54→H31年 1.68(H37年 1.84、H47年 2.07)

#### ② 社会増への転換

■ 社会増減：H26年▲3,703人→H31年▲2,000人(H37年に均衡)

#### ③ 仕事と収入の確保

■ 労働生産性：H24年度 8,012千円/人→H29年度 8,220千円/人

■ 就業率：H26年 59.5%→H31年 60.0%

#### ④ 人口減少下での地域の活力確保

■ 県民一人当たり公共交通機関利用回数：H25年度 48.2回/人→H30年度 49.9回/人

■ 健康寿命：H25年男 79.83歳、女 84.35歳→H31年延伸